

# サポセン

## 今月の内容

- ◇お知らせ
- ◇助成金情報
- ◇イベント情報
- ◇ボランティア募集
- ◇イベント報告



発行日 2025.2.1  
発行 高知市市民活動サポートセンター  
企画・編集 認定特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議  
〒780-0862 高知市鷹匠町2丁目1-43号  
高知市たかじょう庁舎2階  
高知市市民活動サポートセンター  
月～金/10:00～21:00 土/10:00～18:00  
日・祝・年末年始/休み  
TEL: 088-820-1540/FAX: 088-820-1665  
E-mail: info@shiminkaigi.org  
https://kochi-saposen.net/



## 子どもの声を聴くということ ～チャイルドラインの活動から～

子どもの声を聴く、ということはどういうことでしょうか。

チャイルドラインこうちは、電話で子どもの声を聴く活動で、  
様々な子どもに寄り添っています。

電話をかけてくる子どもはどんな子どもなのか、そのニーズは何か、  
子どもの話を聴く大人に求められることは何か。

子どもが、自分の話を聴いてもらえた、受けとめてもらえたと感じることで、  
自分自身でその課題と向き合い、乗り越えていくことができる。

そう信じ、ありのままの子どもを丸ごと応援するチャイルドラインの活動を通し、  
「子どもの声を聴くということ」について、ともに考えてみませんか。

2025年2月10日（月） 18:30～20:30

高知市市民活動サポートセンター 大会議室



2月まちづくりトークcafé

参加無料 要申込



【ゲストスピーカー】

本浄 謹士さん

チャイルドラインこうち  
代表理事



公式HP

## スキルアップ講座

3月4日（火）

18:30～20:30

初心者のための

← Canva (キャンバ)

Googleフォーム →

活用術セミナー

【講師】

山本 和美  
サポートセンター  
広報担当

webブラウザ上で  
素敵なチラシを  
簡単に作りましょう！

3月5日（水）

18:30～20:30

【講師】

尾崎 昭仁  
サポートセンター  
センター長

アンケートや  
申込みフォームを  
簡単に実施できますよ！

会場 高知市市民活動サポートセンター 大会議室

定員 各回先着12名（PCをご持参ください）

お問合せ：高知市市民活動サポートセンター 矢田

★トークcaféのお問い合わせも高知市市民活動サポートセンターまで★

1 / サポセン2月号



★紙面の都合により、必要最低限な情報のみを抜粋しています。詳細につきましては各団体のホームページをご覧ください。

## 助成金情報

### 障がい者団体助成事業

本会では「協会の理念」に基づき、すべての方の健康と幸福に寄与するため、「障がい者団体助成」の対象となる団体を公募し、住み慣れた地域で自分らしく暮らすための活動を応援しています。

#### 【応募締切】

**2025年2月13日（木）（必着）**

#### 【助成金額】

上限 20万円

#### 【助成対象団体】

当事者団体並びに障がい者分野の関係団体であること。「当事者団体」とは、障がい者本人及びその家族が、会員もしくは役員のおお半以上を占める団体とします。

#### 【助成対象事業】

日本国内における、障がい者（児）とその家族を支援する事業、リハビリテーションの発展に寄与する事業が対象となります。

#### 【助成期間】

2025年5月1日（木）～2026年2月28日（土）

#### 【申込方法】

実施要綱を熟読し、助成交付申請書と要望額調書に必要事項を記入のうえ、事務局宛に郵送してください。  
[https://www.japanpt.or.jp/activity/grant/public\\_utilities/](https://www.japanpt.or.jp/activity/grant/public_utilities/)

#### <応募・お問合せ先>

- ▼公益社団法人 日本理学療法士協会
  - ▼〒106-0032 東京都港区六本木七丁目 11-10  
公益社団法人 日本理学療法士協会  
企画部 広報企画課 宛
  - ▼TEL: 03-6804-1422
- Web 上にお問合せフォームがございます。

### D&I 基金

本基金は、多様な個性を尊重し共生していくD&I社会の考え方を広げる、新たな試みへのチャレンジを期待する寄付者によって、創設されたものです。

（注）D&I とは、ダイバーシティ&インクルージョンの略です。

#### 【応募締切】

**2025年2月14日（金）17:00**

#### 【助成金額】

上限 100万円

#### 【助成対象団体】

NPO 法人、一般社団法人、社会福祉法人、公益法人などの非営利組織を対象とします。※法人格の有無は問いません（任意団体も可）  
他にも条件があります。詳しくは HP をご確認ください。

#### 【助成対象事業】

高校生までの子どもたちを対象に、多様性とインクルーシブな視点の獲得を目指す先駆的な活動を支援することを目的とします。多様な立場・価値観を持つ人とのふれあいや、「相手も自分も大切にすること」を学べる場づくり・環境づくり・人づくり等を支援いたします。

#### 【助成期間】

2025年4月～2026年3月末

#### 【申込方法】

「D&I 基金」のウェブサイトから応募団体登録を完了させたうえで、応募フォームより申請下さい。

詳しくは HP をご確認ください。

<https://www.public.or.jp/project/f0171>

#### <応募・お問合せ先>

##### ▼パブリックリソース財団

応募に関してのお問い合わせは、特設ウェブサイト内の問い合わせフォームからお問い合わせください。お問い合わせは 2025年2月14日（金）10:00 までの受付となります。



### 建設女子応援ファンド

女性が働きやすく、働き続ける環境を整えることは、男女問わずすべての就業者にとって働きやすい環境の実現となり、建設業界の人材不足解消にもつながっていきます。

建設業界の持続的な発展に向けて、女性が長く働き続けられる「働きやすい」環境整備活動を行う団体へ助成を行います。

#### 【応募締切】

**2025年2月20日（木） 17:00**

#### 【助成金額】

上限 30万円



#### 【助成対象団体】

次のすべての該当する団体とします。

- ①非営利団体（法人格は不問）  
\* 国、地方自治体、宗教法人、個人、営利を目的とした株式会社、有限会社、  
趣旨や活動が政治・宗教・思想・営利などの目的に偏る団体は該当しません。
- ②建設業界で働く人が団体の活動に参加していること
- ③団体の活動をホームページ、SNS や会報誌等で公表していること

### 【助成対象事業】

- ①建設業界で女性が働き続けられる「働きやすい」環境整備に関わる活動  
例) 情報発信・普及啓発、スキルアップ・キャリア形成の支援、交流・ネットワークづくり、ワークライフ・バランスの推進
- ②建設業界で働くことを希望・検討している女性や若年層にむけた PR 活動

### 【助成期間】

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

### 【応募方法】

Web 上の応募フォームにて必要書類を揃えてご応募ください。詳しくは QR コードから HP をご確認ください。

#### <応募・お問合せ先>

- ▼(公財)公益推進協会 建設女子応援ファンド担当
- ▼〒105-0004 東京都港区新橋 6-7-9  
新橋アイランドビル 2 階
- ▼TEL : 03-5425-4201
- ▼E-mail : info@kosuikyo.com  
(件名は「【問合せ】建設女子応援ファンド\_団体名」としてください)

## NPO 組織基盤助成 ボランティア推進プログラム

本助成プログラムでは、子どもを取り巻く諸課題に取り組む民間非営利団体が、ボランティアとのより良い協働のあり方を考え、実践することを、資金面及びノウハウ面で支援します。そのことによって、多くの市民にとって良い参画の機会が作られ、子どもたちにとって価値ある取り組みが持続的に発展し、子どもたちの健やかな成長を支える地域社会が実現していくことを目指します。

### 【応募締切】

**2025 年 2 月 20 日(木)正午**



### 【助成金額】

100 万円

#### 【非資金的支援】

- ・合同研修による活動相談や事例共有
- ・ボランティア協働の活動実績を有する団体の現場視察
- ・他団体とのネットワーキング 等

### 【助成対象団体】

法人格を持つ日本国内で活動している民間非営利団体(特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、社会福祉法人等)

- ・活動実績：2 年以上
  - ・年間予算規模：500 万円以上
  - ・本プログラムで開催される集合研修に参加ができること
- ※要件に満たない場合でも、相当する実績がある場合は、申請が認められることがあります。事前に事務局までお問い合わせください。

### 【助成対象事業】

- ・困難な状況にいる子どもに対しての支援、もしくは子どもが自分自身の可能性と出会い成長していくことの支援に継続的に取り組んでいること。
- ・ボランティアを「パートナー」として受け入れる意思と体制があること。

### 【助成期間】

2025 年 4 月 1 日～12 月 31 日(9 か月間)

### 【申込方法】

「子ども支援団体対象 NPO 組織基盤助成 ボランティア推進プログラム」公式サイト上にあるプレエントリーより、公募要項をダウンロードし、要項に沿ってご応募ください。  
<https://nbora.grant.etic.or.jp/>

#### <応募・お問合せ先>

- ▼NPO 組織基盤助成 ボランティア推進プログラム事務局 (NPO 法人 ETIC.)
- ▼〒150-0011 東京都渋谷区東 1-1-36  
キタビルデンス 402
- ▼TEL : 050-1743-6743
- ▼E-Mail : nbora.grant@etic.or.jp

## 地域福祉振興助成

この助成は、障がい者等を支援する福祉活動やボランティア活動に対する助成を通じて やさしく住みやすい地域社会の創造に資する事を目的とします。

### 【応募締切】

**2025 年 2 月 25 日 (火)**

### 【助成金額】

企画開催・物品購入：上限 100 万円  
設置・改修工事：上限 150 万円  
車両購入：上限 200 万円  
総額 6,000 万円



### 【応募資格】

障がい者等を支援する福祉活動、ボランティア活動に取り組む団体・グループ  
※ 法人格の有無、活動の期間は問いませんが個人でのお申込みはできません

### 【助成期間】

2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日

### 【申込方法】

WEB からお申し込みください。  
各書類は PDF 形式でアップロードください。



### <応募・お問合せ先>

- ▼公益財団法人木口福祉財団
- ▼〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町 14-10
- ▼TEL : 0797-21-5150
- ▼FAX : 0797-35-4500
- ▼Email : josei@kiguchi.or.jp

## お金をまわそう基金

私たちお金をまわそう基金は、活動する団体と支援したい方の双方の問題を解消することで、寄付による優しいお金の循環を作りよりよい社会の実現を目指します。

お金をまわそう基金では、あらかじめ決まった財源から助成をするのではなく、選考を行って助成の対象となる事業を採択してから、寄付を募集し、集まった金額を助成金として助成先団体にお渡ししています。

お金をまわそう基金は、助成先団体が自ら寄付を集め、事業が継続できる可能性を高めることが重要であると考えています。このため、助成先団体の事業への寄付を募集するとともに、団体による寄付集めの伴走支援や法人運営のアドバイス等を行います。

### 【応募締切】

**2025年2月28日(金)**

申請ID発行：2月14日(金) (当日17時まで)

### 【助成金額】

助成の対象となる事業を行う上で直接必要となる経費を助成金の上限額とし、助成先団体の決定後、寄付の募集・受付を開始し、寄付受付期間中に集まった寄付金を助成金の額とします。

### 【助成対象団体・事業】

法人格を持つ非営利団体が行う、当財団が指定する4つの分野における社会課題の解決のための非営利活動・公益事業

分野：「子ども」「スポーツ」「文化・伝統技術」  
「地域経済・地域社会」

### 【助成期間】

申請時に提出する事業計画書・収支予算書の年度終了までの期間

### 【応募方法】

インターネットを通じて専用システムから入力や書類のアップロードを行っていただけます。

助成申請システムの利用には申請用IDが必要です。まずは申請用ID発行期間内に申請用IDの発行申請をしてください。

<https://okane-kikin.org/information/10426>

### <応募・お問合せ先>

- ▼公益財団法人 お金をまわそう基金
- ▼〒102-0082 東京都千代田区一番町 29-2
- ▼TEL : 03-6380-9864
- ▼E-mail : info@okane-kikin.org

## イベント情報

### 初心者のための「動作法講座」

#### ◆日程

2025年2月8日(土) 10:00~12:00

#### ◆内容

動作法は、からだを通したやりとりの中で、心の在り方にもアプローチする心理療法です。

この講座では、動作法の基礎を学び、実際に自分のからだで体験することで、障害のある方への「こころ」と「からだ」を支える支援方法を学びます。

- 9:30 受付
- 10:00 講座
- 12:00 休憩
- 13:30 月例会
- 16:00 全体ミーティング
- 17:00 終了

※希望者は、午後からの月例会（実際に障害のある方に動作法を実践している場です）への参加も可能です  
※運動できる服装でご参加ください



#### ◆会場

高知県立高知若草特別支援学校

#### ◆入場料

無料

#### ◆主催

高知県心理リハビリテーション研究会

### <お問合せ・お申し込み先>

メールにてお申込み、お問い合わせください。

- 高知県心理リハビリテーション研究会
- E-mail : dohsahou2018kochi@gmail.com

## きのこの駒打ち体験

#### ◆日程

2025年2月16日(日)  
(1)10:00~12:00 (2)13:00~15:00

#### ◆講師

森ときのを愛する会

きのこを核とした森とのふれあいを中心に、「きのこ観察会」「花登山」「キャンプ」

「各主観段階」等、様々な活動をしています。

#### ◆参加費

ほだ木1本につき1,000円(1人1本まで)  
打ったほだ木は持ち帰れます。1m程度の長さがあります。

#### ◆会場

高知県立森林研修センター 情報交流館  
(香美市土佐山田町大平80)

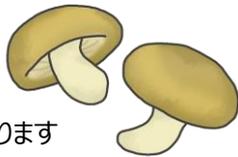
#### ◆対象

お子さまと保護者の方

◆持ち物

作業手袋（軍手）

※コマ打ちは屋外での作業になります



◆定員

各回 30 名

◆主催

高知県立森林研修センター情報交流館

<お問合せ先>

電話にてお申込みください（メール等は不可）

■高知県立森林研修センター 情報交流館

■TEL：0887-52-0087

ふくし就職フェア february

◆日程

①2025 年 2 月 16 日

13：00～16：00

②2025 年 2 月 20 日 ～ 2 月 22 日

いずれも 10：00～16：00

◆内容

対面と WEB のハイブリッド形式で就職活動や情報収集ができる「ふくし就職フェア february」を開催します！！

しあわせな毎日を築くために。

ふくし就職フェアでは、63 法人の福祉施設・事業所の魅力のご紹介をしています。

年齢・資格・経験不問！どなたでも参加できます！

新卒採用、再就職・転職採用情報はもちろん、各法人の PR 動画などをご紹介！ぜひ、ご覧ください。

◆会場

①2025 年 2 月 16 日

高知市文化プラザ かるぽーと

7 階 第 1～第 3 展示室

②2025 年 2 月 20 日～2 月 22 日

WEB 上

◆参加費

無料

◆主催

高知県、高知県福祉人材センター、安芸福祉人材バンク、幡多福祉人材バンク

◆お申込

2 月 16 日は事前申込不要です。

2 月 20 日～2 月 22 日の WEB 開催については、ホームページをご覧ください。

[https://kochi-web-](https://kochi-web-fukushifair.com/introduction/)

[fukushifair.com/introduction/](https://kochi-web-fukushifair.com/introduction/)



<お問合せ先>

■高知県福祉人材センター

■〒780-8567 高知県高知市朝倉戊 375-1

高知県立ふくし交流プラザ 1 階

■TEL：088-844-3511

■FAX：088-821-6765

■E-mail [jinzai@pippikochi.or.jp](mailto:jinzai@pippikochi.or.jp)

まぜこじゃ KOCHI

～土佐と世界をいっちきち もんちきち～

◆日程

2025 年 2 月 16 日（日）10：30～16：00

（10：00 受付開始）

※午前・午後のみ参加 OK

◆プログラム

外国人人口 1% から始める私たちのマインドチェンジ。高知県内外の実践者・在住外国人・学生らと高知の国際化を考え、分野横断的なグローバル 人材のネットワークを形成するセミナーです。

グローバルとローカルの視点を併せ持つ高知 の地域づくりに関心のある方、この機会にぜひご参加ください。

■基調講演(午前)

テーマ「外国人人口 1% から始める私たちのマインドチェンジ ～多文化ポジティブな社会を目指して～」

講師：佐藤 寛 氏（開発社会学舎 主宰/元アジア経済研究所上席主任調査研究会）

■基調講演(午後)

テーマ

「JICA における国内地域への取り組み：共創と環流」（仮題）

講師：田中 明彦氏（国際協力機構（JICA）理事長）

- ・分科会①日本語教室を拠点とした地域コミュニティづくり
- ・分科会②外国人地域おこし協力隊と観光振興
- ・分科会③国際経験を地域に活かす グローカル移住のススメ
- ・分科会④国際協力 NGO の地方誘致と地域活性化
- ・分科会⑤学生から見た高知の国際化に思うこと
- ・分科会⑥多文化共生と学び合い

※高知大生によるガムラン演奏会

※昼食販売

（ハラル料理、ベトナム料理、フェアトレードコーヒー）

●使用言語：日本語

（一部の分科会は英語、逐次通訳あり）

◆参加費

無料

◆定員

100 名程度

◆会場

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟 2 号館・3 号館

（高知市曙町二丁目 5 - 1）

◆主催

高知大学次世代地域創造センター



### ◆お申込

以下のURL又はQRコードからお申込み下さい。  
<https://forms.office.com/r/sEktFSQpR?origin=lprLink>

※事前申込み必要

※座席に余裕があれば当日参加も可

締切：2025年2月8日（土）

#### <お問合せ先>

- 高知大学次世代地域創造センター
- TEL：088-844-8293
- E-mail：kt10@kochi-u.ac.jp

## NPO 等による災害支援セミナー

いつもの活動が“いざ”というときに生きる！  
みんなでつなげる「支援のチカラ」

### ◆日程

2025年2月20日（木）13：30～16：30

### ◆内容

令和6年1月1日に発生した能登半島地震。被害も大きく、インフラ復旧にも時間を要したため、被災者支援においては公的な支援にとどまらず、地域住民やNPO、民間企業等による多様な支援が重要となりました。

近い将来発生するとされている南海トラフ地震でも広域かつ甚大な被害が予想されており、NPO等が平時の活動を活かした被災者支援を行うことに期待が寄せられています。

このセミナーでは、能登半島地震等で行われた被災者支援活動を学び、災害時に増大する様々な支援ニーズに対して平時の活動を生かして行える支援活動について考えることを目的に開催します。

【13：30】

県内NPO等の災害支援活動に関するアンケート報告  
高知県ボランティア・NPOセンター

【13：50】

講演「地元主体による被災者支援活動の重要性」  
認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

代表理事 栗田 暢之 氏

【14：10】

休憩

【14：20】

実践発表「平時の活動を活かした被災者支援活動」  
認定NPO法人おやこの広場あさがお 事務局長 川上 由枝 氏  
社会福祉法人輪島市社会福祉協議会 榎屋 雅也 氏  
Ad:認定NPO法人日本NPOセンター 常務理事 田尻 佳史 氏  
Co:さんすい防災研究所 代表 山崎 水紀夫 氏



【15：40】

意見交換

平時の活動の情報交換を通して、顔の見える関係づくりを進めます。

【16：20】

まとめ

【16：30】

閉会

◆参加費

無料

◆会場

・県立ふくし交流プラザ5階研修室A  
（高知市朝倉戊 375-1）

・しまんとびあスタジオ2（四万十市右山五月町 7-7）  
（オンラインサテライト会場）

※ 申込時にどちらの会場で参加するかお答えください。

◆申込方法

QRコードからお申し込みください。

締切：2025年2月10日

◆主催

高知県社会福祉協議会

高知県ボランティア・NPOセンター



#### <お申込・お問合せ先>

- 高知県社会福祉協議会  
高知県ボランティア・NPOセンター（担当：森下・間）
- 高知市朝倉戊 375-1 県立ふくし交流プラザ4階
- TEL：088-850-9100
- FAX：088-844-3852
- E-mail：kvnc@pippikochi.or.jp

## 犯罪被害者支援・女性の人権講演会

### ◆日程

2025年3月8日（土）13:30～16:00

### ◆内容

“No”も“沈黙”も同意ではない。“YES”だけが同意です。

日本で不同意性交等の被害を警察に届け出るのは被害者のわずか1.4%。被害者の55.7%は誰にも話すことができないという調査結果があります（内閣府2023年）。

2017年と2023年に大きく改正された刑法性犯罪規定。その内容と課題について、性被害当事者が生きやすい社会を作るため、政策決定の場に当事者の声を届ける“ロビイング活動”を行う一般社団法人Springの共同代表早乙女祥子さんとSpring法律家チームの村田智子弁護士にお話をいただきます。

オンデマンド配信も行います。詳しくはHPをご確認ください。

受付締切：3月29日（土）17：00

### ◆参加費

無料

### ◆対象

本テーマに関心のある方

### ◆会場

こうち男女共同参画センター「ソーレ」3階大会議室

託児あり（事前予約制 3/6 迄）

※ 駐車場が狭いので、なるべく公共交通機関をご利用ください

### ◆お申込

HP 上のお申込みフォームからお申し込みください。

### ◆主催

公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団

認定 N P O 法人こうち被害者支援センター

### <お問合せ先>

■ こうち男女共同参画センター「ソーレ」

■ 〒780-0935 高知市旭町 3 丁目 115 番地

■ TEL : 088-873-9100

## ボランティア募集

### 傾聴ボランティア募集



#### ▽募集趣旨

社会が発展し、生活様式が変化を続けている現代社会の中で、様々な問題に囲まれ、あるいは困難に直面して、孤立無援に感じて苦しみ、悩んでいる方々がいます。高知県中央東においてもそうです。

そのような方々に対して、その方々自身が自己回復力と自己決定力を回復する一助となるように、前に向かって進んで行くことができるように、私たちは傾聴という方法によって、ささやかな支援を行っています。

この支援活動は小さな積極的社会的活動であり、私達は人を支えることによって、私達自身が支えられています。

皆さん、南国きく会の会員になって、私達と一緒に活動しましょう。是非参加してください。

#### ▽内容

公的施設等で、あるいは個人宅を訪問して、お話を聴く。お話を聞くことによって、苦しみ悩んでいる人あるいは寂しい人を支える

#### ▽募集期間

3月28日（金）まで

#### ▽活動範囲

高知市・南国市・香南市・香美市

#### ▽対象

傾聴に興味・関心のある方・ボランティアをしてみたい方

#### ▽募集人数

10名



#### ▽年齢制限

20歳以上

#### ▽養成講座の詳細

加入希望の方には受講していただきます。前10回。例会にも参加してください。

場所：南国市立地域交流センター・ミアール

南国市大桶甲 2117（大篠小学校南側）

期間：2025年4月～2026年1月

第2土曜日 9:00～11:30（休憩を含む）  
（11:30～13:00 例会）

○南国きく会加入申込者は、原則全10回受講すること。欠席する場合は、伝達講習（会長が実施）を受けること（2026年1月の「ロールプレイ」を除く3回まで。4回以上は認めない。）

○加入希望者は準会員として会費 3,000 円をお願いします。（途中で受講を中止しても会費は返還されません）

○認証式 2026年2月（第2土曜日）（例会）

#### ▽申込方法

QRコード先から申込用紙を入手し、記入して南国市社会福祉協議会事務室に提出してください（郵送可）

〒783-0001 南国市日吉町 2-3-28

社会福祉法人 南国市社会福祉協議会

TEL : 088-863-4444

#### <お問合せ先>

▼南国きく会会長・前田

▼TEL : 090-4506-0874

## 不定期編集後記

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。

この広報誌がみなさんのお手元に届くころには、立春を迎えているのでしょうか。

節分と言えば豆まきと恵方巻が定番ですが、思えば自分が子どもの頃は恵方巻という文化は、今よりも浸透していなかったように思います。どこの2月14日の的なものかと思いついてみると、由来があるようで。

大阪の船場で、商売繁盛や無病息災を願って食べた、というのが有名どころでしょうか。ほかにも説はありますが、ここでは割愛させていただきますね。

それからなぜ現代に普及しているかと言うと、平成初期にとあるコンビニで売られたのがきっかけらしいです。

大阪の一部で行われていたことが、一度廃れた後、現代に甦る…となると、今わたしたちが当たり前に行っていることが近未来では廃れ、遠未来では季節イベントとして甦る、なんてこともあり得るのかもしれませんが。

例えば「夜露が降る晩は、体を清めて熱い湯に入り、『あー』という声をあげることで火を司る神への祝詞（のりと）になる」なんて、言われるのかもしれませんが。



1月まちづくりトークcafé

## わくわく、楽しむボランティア！

【ゲストスピーカー】  
三井 幸一さん  
(高知SGG善意通訳クラブ)

2025年1月24日(金) 18:30～20:30  
高知市市民活動サポートセンター 大会議室



今回は高知を旅する海外の方への観光ガイドの活動をされている高知SGG善意通訳クラブの活動をお聞きしました。会員の皆さんが楽しく息長く活動されている秘訣は一人一人の意見を否定せず、「何でもやってみよう」という前向きな発想が大事であるということが参加者の皆さんにも伝わったのではないかと思います。また、はりまや橋交差点の路面電車の「トリプル・クロス」の発見者でもある三井会長の電車への思いや発想の豊かさ、行動力にも大変感心しました。後半のグループワークでは新たな高知の魅力を紹介するガイドツアーも考えて頂き、大いに盛り上がりました。次回は、実際に「ガイドツアー」をお願いしたいな！と考えています。

## こうちNPOフェス2024 今年は冬フェス！ こうちのボランティア・NPO大集合

2024年12月14日(土) 11:00～15:30  
かるぽーと7階 第1展示室・第3展示室

「こうちNPOフォーラム」の名称で毎年開催していましたが、高校生や大学生にもっと参加してもらいたいと願い、今年は「こうちNPOフェス」の名称で開催しました。吉田友一さんのオープニングトークショーの後は、文化祭のように第1展示室では高知県内で活動する団体の体験コーナーや分科会があり、第3展示室ではブース出展団体やポスター展示団体のプレゼンテーションをお弁当やおやつをいただきながら聞いて参加者みんなまで交流しました。最後は坂野志麻さんのアコーディオン演奏に合わせてみんなで歌い楽しく閉会しました。

CONGRATULATIONS



高知市を住みよいまちにするための活動に助成を行う「高知市まちづくりファンド」の2024年度中間発表会を行いました。

## 高知市まちづくりファンド 2024年度中間発表会

14団体が助成事業の途中経過を発表し、その内容に対して参加者がふせんで感想等を書きます。そのふせんでを元に、運営委員が各団体と意見交換を行い、より具体的に活動を知る機会となりました。中間発表会の場をきっかけに、団体同士のつながりが生まれる様子も見られ様々な交流の場となりました。他団体の活動を見て、自分たちの活動のモチベーション向上につながった、刺激をもらったという声も上がっていました。

